

## 成田市教育委員会会議定例会会議録〔会議概要〕

平成21年12月教育委員会会議：定例会

期日 平成21年12月18日（金） 開会 午後2時00分  
閉会 午後4時10分

会場 成田市役所 5階 503会議室

### 出席委員

委員長	荒井 清	委員長職務代理者	小川 信子
委員	山口 恵子	委員	秋山 皓一
教育長	佐藤 玉江		

傍聴人：0人

### 出席職員

教育長	佐藤 玉江（再掲）	教育総務部長	関川 義雄
生涯学習部長	吉田 昭二	教育総務課長	坂本 公男
学校施設課長	堀越 慎一	学務課長	小館 修
教育指導課長	五十嵐 正憲	学校給食センター所長	古関 修
生涯学習課長	遠藤 英男	生涯スポーツ課長	遠藤 美代治
公民館長	和田 修	図書館長	山本 康秀
生涯学習課主幹	神崎 諭	教育総務課主幹（書記）	金坂 昭夫

### 【 会議概要 】

#### 1. 委員長開会宣言

#### 2. 教育長報告

##### ① 主催事業について

- ・ 11月20日 成田市生涯大学院学園祭が大栄公民館プラザホールで開催された。生涯大学院の1年生から3年生までのクラスごとに発表があり、更なるコミュニケーションを深める目的で毎年開催している。
- ・ 11月21日 市史講座を成田市立図書館視聴覚ホールを会場に開催した。委員長も出席していただいたが、東京大学史料編纂所の佐藤孝之氏による「江戸時代の駆け

込み寺と村社会について」と題して講演会を開催した。駆け込み寺は離縁などで女性が助けを求めて駆け込む縁切りだけではなく、今で言うと社会福祉的なことを行なっており、村社会で起こるもめごとを調停したりしていた。との話があった。

- ・ 11月28日 明治大学・成田社会人大学修了式を成田市役所大会議室で開催した。国際社会課程、地域社会課程、緑地環境課程で約190人が修了した。その他、称号授与が行なわれ、修学士27人、教学士7人、弘学士4人に明治大学学長から直接称号が授与された。
- ・ 11月30日 瑞寶雙光章を受賞された方を訪問し、叙勲伝達を行なった。
- ・ 12月 4日 教育長・校長合同会議を印旛教育会館で開催した。平成22年度に向けての平成21年度末の人事異動、また、不祥事防止対策について話し合った。
- ・ 12月 9日 定例校長会議を開催した。人事異動の関係、不祥事防止対策について説明を行なった。その他、学務課より人事異動、不祥事防止対策について、教育総務課より、予算の執行方法についての事務連絡の他、学校監査について、また、給食センターより給食施設設備計画の進捗状況について報告を行なった。
- ・ 12月13日 青少年感動芸術劇場を開催した。あいにく参加できなかったのが、参加した委員より報告をお願いしたい。
- ・ 12月15日 教頭会議を開催した。校長会議と同様に不祥事防止対策について、インフルエンザ対策、それに伴う学級閉鎖による授業時間数不足の対策について説明した。

## ② 市議会12月定例会について

- ・ 11月27日～12月17日 平成21年12月成田市議会定例会が開催された。議会報告資料に基づき説明する。
  - 12月1日～3日 一般質問が行なわれ、教育委員会関係では、鶴澤議員、堀川議員、内山議員、足立議員、雨宮議員、神崎議員、水上議員より質問があり、答弁した。
  - 12月10日 教育民生常任委員会が開催され、教育委員会関係では議案2件が審議され、可決された。所管事務調査では、教育に関する事務の点検及び評価報告書について、学校適正配置の進捗状況について、ニュータウンスポーツ広場整備事業について、報告をした。
  - 12月11日 総務常任委員会が開催され、補正予算が審議され、可決された。

## ③ その他について

- ・ 11月26日 咸陽市訪問団による表敬訪問があった。咸陽市訪問団は、教育関係者が中心で、咸陽市人民対外友好協会副会長を団長として、咸陽市教育局局長、咸陽市秦都区副区长、咸陽市礼泉県教育局局長、咸陽市外事弁公室通訳の総勢5名による訪問団であった。
- ・ 11月27日 咸陽市訪問団による教育委員会職員との懇談会及び西中学校訪問が行なわれた。

- 11月27日 印旛郡市教育委員会連絡協議会常任委員会、印旛地区教育長会議が印旛合同庁舎で行われた。私は、出席できなかったが人事異動と不祥事防止について話し合われた。
- 12月4日 成田高等学校女子駅伝チーム全国大会出場報告会が行なわれた。関東大会で優勝し、12月20日に京都で行なわれる全国高校女子駅伝に出場する。部員は全員で8人。
- 12月6日 第19回成田市子ども会まつりが行われた。子ども会連合会には60の団体が登録されているが、まつりに出て来ている子ども会は、数えるほどであった。それは、地域の活動で手一杯で中央の大会にまで手が回らない状況であるとの話があった。
- 12月11日 成田市立西中学校女子駅伝チーム全国大会出場報告会が行なわれた。関東大会で優勝し、山口県で行なわれる全国大会に出場する。部員は全員で8人、この8人で大会に出場することとなる。監督の先生が言っていたことの中で感銘を受けたことばがあった。「一人一人の生徒は、決して足が速いわけではない。関東大会のコースは非常に厳しいコースであった。その厳しいコースを駆け抜けて勝てたのは、一人一人の生徒の心が折れなかったからだ。」と言っていた。本当にそのとおりだと思った。小さな積み重ねが大切で、それが心が折れなかったことにつながったと思った。
- 12月12日 千葉県子ども会育成研究協議会中央大会が成田市を会場に行われた。子ども会の加盟団体が年々減少している。子ども会の意義をもう一度再確認することが取り上げられていた。スポーツ団体と違って子ども会活動は目的が明確でないことが、子ども会が育たない原因ではないかとの話があった。
- 12月12日 成田市体育協会表彰祝賀会が行われた。体育協会より5人の方が日本体育協会や千葉県体育協会、千葉県東部都市体育研究協議会から表彰を受けたため、祝賀会が開催された。
- 12月13日 成田市体育指導委員表彰祝賀会が行なわれた。会長が全国体育指導委員研究協議会から30年勤続体育指導委員として、また、成田市体育指導委員連絡協議会が全国体育指導委員連合より優良団体として表彰されたため、祝賀会が開催された。
- 12月14日 JICAボランティア表敬訪問があった。成田市寺台在住の27歳の方がチュニジアに2年間の予定で派遣され、1村1品運動に貢献する。チュニジアの首都チュニスまで飛行機で20時間、チュニスからバスで10時間行ったところで、2年間、1村1品運動に貢献するとのことであった。
- 12月15日 千葉県北総教育事務所人事面接が行なわれた。大まかなことについて、こちらの意見と聞かれたことに対して答えた。

委員：12月13日に青少年感動芸術劇場に参加したので報告する。

小学校は7校参加した。多い学校では60人、少ない学校で20人程度参加していた。この大会を目指してやってきている学校、更に県大会や全国大会を目指している学校があり、先生も熱心に指導し、子どもたちも先生を信頼して一生懸命やっていて、素晴らしい演奏会であった。

生涯学習課長：青少年感動芸術劇場として、国際文化会館で12月13日に実施した。

当日、入場券の販売が791枚、入場者が754人でほぼ満席であった。今回出場校は7校、神宮寺小学校、平成小学校、公津の杜小学校、美郷台小学校、成田小学校、八生小学校、加良部小学校でコーラスグループのサーカスとジョイントして発表会を行なった。

《 教育長報告についての主な質疑 》

委員：校長会議、教頭会議では、インフルエンザや不祥事防止対策の話題が多かったようだが、今現在の成田市のインフルエンザの状態、ワイセツやセクハラなどの不祥事について成田市で問題となっていることはあるのか伺いたい。

教育指導課長：1点目のインフルエンザの状況について、説明する。

千葉県全体のインフルエンザの状況については、定点あたりの1医療機関当たりの報告数では、48週11月23日～29日で53.67人と非常に高い数値であった。これが12月初め頃には、35.99人～31.95人と下がってきている。

市内の状況については、インフルエンザの発症者の数で、小学生では12月8日で260人、本日で200人を下回っている。学級閉鎖は、3学級と減ってきている。しかし、印旛管内では、依然として定点あたりの報告数が30人を超えており、警報が出ている状況である。

学務課長：2点目の不祥事の状況について、説明する。

この間、繰り返し、県からも指導を受け取組んできた。千葉県では、今年度に入って不祥事、とりわけワイセツ・セクハラで懲戒免職を受けているものが10人を超えている。全国都道府県の1年間平均の処分件数は平均で5人前後であるが既に超えている状況で、見過ごすことができないということで繰り返し研修、緊急アピールが県から出されている。成田市においては、ワイセツ・セクハラは発生していないが、今後もうこういうことが無いように各学校に注意を喚起していく。

委員：セクハラで10人処分を受けているが、学校内で生徒に行なったのか。それとも先生の間でのことなのか。

学務課長：つい最近の事例では、他市の事例で、出会い系サイトで知り合った女子高生に対して不純な行為を行なったということで懲戒免職になっているという例

がある。あるいは盗撮行為という例もある。

委員：他の都道府県と比べて千葉県が多いというのは、何か原因があるのか。

学務課長：昨日、千葉県の教育委員会会議が行われているが、その議題に職員の不祥事があげられていた。どんな不祥事かはわからないが、それでも止まないのは、倫理観や教育の職に向けられている期待に対して気持ちの緩みがあるのではと感じる。

教育長：10月の終わりに緊急に千葉県で教育長を集めて会議が開かれた。その中で、厳しくしても減らないという話があり、緊急に不祥事防止に関して指導をして欲しいと説明を受けた。そのときも千葉県は多いという説明があった。

委員：報道の中で、不祥事を起こして捕まった人のコメントが載っているが、なぜその様なことをしてしまったかについて、「日常の家庭や仕事上でのストレスがたまってしまう」というのが多いように感じる。言い訳かも知れないが、日常の仕事との関わりも考えざるを得ない。各学校でのコミュニケーションや人間関係で防げるものなら防ぐことが大切だと思う。校長先生、教頭先生にそのようなことにも関心を払って欲しいとお願いして欲しい。

委員：子ども会育成会の研究大会の報告の中で、年々減少傾向にあるとの話があった。成田市ではどの位の子ども会があるか。成田市でも減少傾向にあると思うが、減少傾向をとめるためには魅力ある子ども会でなければならないと思うが、成田市教育委員会としてリーダー研修会等の開催など、そのための努力はされているか。

生涯学習課長：成田市の子ども会連合会の登録団体数は60である。リーダーの育成のためのリーダー研修会は、年間1～2回行い、子ども会の登録を進めるため、市から行事の案内等PRをしているが、地域の中で継続して参加していく子どもに限られてしまう。今後も子ども会活動の充実を図って行くため、団体登録のPRやリーダー研修等に力を入れていく。

委員：子ども会活動は、青少年相談員と活動はかぶるのか。

生涯学習課長：青少年相談員、地区の青少年健全育成協議会と協力して事業を行なっている。中学生向けだとオールナイトハイクは、中学生と青少年相談員と一緒にしている。小学生向けには、綱引き大会など青少年相談員が主体となって子ども会と一緒にしている。

委員：今の子ども会活動は、昔の子ども会活動と違ってきている。子ども会を必要としてやっているのではなく、あるからやっているように思える。子ども会育成会のリーダーになる人は、少ないとのことだが、現在の育成会会長は何年やっているのか。

生涯学習課長：前会長は20年されていたが、昨年度より、新しい会長が就任した。

委員：20年の間に子ども会を取り巻く環境は大きく変わってきていると思う。今後、子ども会の活動を活発化させることは可能か。

教育長：子ども会の活動目的があいまいで、明確にならないことが問題であり、会員が増えない原因である。この問題は、どこでも抱えている問題である。

委員：やっている方は、たいへんだが、昔からやっているから、やらなければならないということに陥ることを避けなければならないと思う。

教育長：中央大会で会長をされていた方も同じような年代であった。中央にいる方も立ち上げからいる方たちで、全体的に新しい形にするためには世代交代も必要ではないか。また、何をするのか明確にしなければならない。

委員：インフルエンザについて質問する。全国的な問題として小、中、高とも授業時間数の確保ができていくということが問題となっている。成田市では、授業時間数が確保できているのか。また、確保できていないとしたら、補習授業はどの様に行なわれているのか。

教育指導課長：インフルエンザによって授業ができなかった分の補習授業について、土曜日に行う学校が1校、冬季休業中に行う学校が1校、その他の学校は、1日の日課を増やして対応している。

委員：教育委員会の指導ではなく、各学校での考え方なのか。

教育指導課長：各学校の判断で行なっている。このインフルエンザによって学級閉鎖になるだろうと予想されていたので、学級閉鎖をした場合には、課題を出すとか、授業ができなかった分については、後から授業をする等考えて教育課程を進めるように依頼していた。

これまで学級閉鎖をした学校で、どれだけの日数の閉鎖をしたかというところ、最大で8日の学校が3校あり、少ない学校では2日で済んだ学校もあった。つぶれ方も様々で、平均して3日から4日であった。

委員：土曜日に行うとか、普通の日に5時間のところを6時間にするとか、休憩時間に行うとか、あるということだが、児童生徒の精神的、肉体的な健康面にも配慮して欲しい。

### 3. 議 事

教育長より議案2件の上程

議案第1号 平成21年度印旛郡市地方教育委員会連絡協議会教育功労者表彰の推薦について、議案第2号 教育委員会事務局職員の任免について、非公開の議決。

(これより非公開とする)

議案第1号 平成21年度印旛郡市地方教育委員会連絡協議会教育功労者表彰の推薦について

《 議決結果 》

決 定

議案第2号 教育委員会事務局職員の任免について

《 議決結果 》

承 認

(これで非公開を終る)

#### 4. 報告事項

① 報告第1号 (仮称)「大字別 地域の事典」の刊行にかかる編集委員会の設置について

図書館長 報告資料に基づき説明

(要旨)

(仮称)「大字別地域の事典」の刊行事業は、市民のより身近な範囲である大字単位の歴史を知ること、合併により拡大した地域の相互理解を深める資料を市民に提供することを刊行の主旨としてスタートした。本事業は、平成18年度から5か年計画で進め平成22年度に刊行する予定としている。平成18年度には専門の方11名を成田市史調査員として委嘱し、編集に向けた調査を開始した。本年度は、原稿執筆の依頼、補足調査、原稿の取りまとめ等の作業を行なっている。

刊行予定の来年度に向けて編集作業を円滑に推進するため、刊行に係る編集委員会を設置し事業の推進を図る。

《 報告第1号についての主な質疑 》

委員：11人の調査員の調査方針は個人個人によって違うのか。

編集方針とどの様な項目を設けて編集していくか明確にしてないと、調査員の視点がバラバラにならないか。そういうものが統一されているか。

図書館長：地域・地域で、ある時代にどの様な事象があったかを明確にしていく。それに関して、どの地域で起こったかを加えていく。本市の中で今まで出された書物に対して、今回刊行する本によって市民により幅広く利用されるような資料とする。

執筆については、11人の調査員に対しては、統一した見解で進められるように調査員会議を開き、編集方針にずれないように進めている。

教育長：調査員は一つの事象について書いていく。調査員は書くだけではなく、現場に行って調査をして書いていく。その際、文献も入れて紹介していくことと

なる。

調査員が執筆するに当たって、偏ることが無いように、また、編集方針がずれないように編集委員会でまとめていく。その編集委員に学識経験者から2人、成田市史調査員から2人、市政に関し識見を有する者から2人の計6人を委嘱する。

図書館長：編集委員6人については、既に内諾を得ている。

この6人で進めて行きたいと考えている。

委員：歴史をやっていくと、載せて欲しくない歴史もあるので慎重に扱って欲しい。

委員：身近なものほど問題は沢山あり難しいがしっかり取組んでほしい。

## ② 報告第2号 成田市立下総中学校校舎（既存棟）耐震補強・大規模改造（建築）工事請負契約の変更について

学校施設課長 報告資料に基づき説明

（要旨）

本工事は、6月定例会市議会において、工事の契約が可決され順調に工事を進めてきたが、構造体であるコンクリート壁において、亀裂や露出した鉄筋の補修箇所等、設計数量を大きく上回る数が確認され、また、これらに伴う仕上げの変更、再利用する既存サッシの補修工事の追加などにより、972万8,250円を増額の変更契約を締結する必要が生じた。

変更工事の主な内容としては、外壁部分を、高圧洗浄した結果、設計数量を上回る亀裂等が確認されたため防水処理の追加工事、内壁の塗装膜を除去した結果、細かなひび割れが多く確認され、それに対応できる塗装材への変更、また、再利用する既存サッシのガラス押さえの劣化が見られたためのシーリング工事、更には床材の変更、天井材の吸音ボード等への変更等である。

また、工事の進捗状況については、11月末日現在の工事出来高は83.4%で、契約工期内の来年1月29日までに完成の見込みである。なお、一部弱電関係等の工事は残るが、生徒等の校舎への引越は、現在の予定では、1月18日・19日になる見込みである。

《 報告第2号についての主な質疑 》

委員：亀裂について、設計数量を大きく上回る数が確認されたとあるが、設計時に判らなかったのか。

学校施設課長：外壁の塗装が吹き付けのざらついた塗装であり、カビが生えていて黒ずんでいた。外壁を高圧洗浄したことにより亀裂が多数確認された。設計では、目視による調査に基づいて行なっているため、隠れている部分の亀裂については判らなかった。内壁についても、ひび割れの上から再塗装がされていた



ため、その塗装をはがして判明した状況である。

委員：設計会社の責任は問えないのか。

学校施設課長：設計を委託する際、足場等を利用した調査に基づく設計まで義務づけていないので、そこまでの責任は問えないと考えている。

委員：設計会社は、専門性があるので、その経験を活かして、最初の設計段階でいろいろなことを予想した正確な見積もりをするべきではないかと思う。

学校施設課長：設計委託する際に、詳細な調査実施を特記事項として盛り込むことはできるが、それなりに設計委託額が上がるので、兼ね合いがあると思う。

### ③ 報告第3号 (仮称) 畑ヶ田多目的スポーツ広場について

生涯スポーツ課長 報告資料に基づき説明

(要旨)

本事業は、計画面積約15ヘクタールの土地に多目的スポーツ広場を中心とした施設を整備しようとするもので、場所は県道成田・松尾線の寺台から三里塚方面に向って、遠山中学校の裏手に位置する。

昨年度は、現況把握・敷地分析・概算工事費の算出・調整池容量の検討等、基本計画を策定した。本年度は、資料のイメージ図を参考にしながら基本設計を策定している。

この施設は、地区スポーツ広場という位置づけではなく、全市民を対象とした施設であるため、現在策定中のスポーツマスタープラン策定業務で行なう市民意識調査の結果を参考にする。

#### 〈 報告第3号についての主な質疑 〉

委員：トイレは、管理棟にあるだけか。

生涯スポーツ課長：施設の基本方針として、建物等は必要最小限にする。トイレは、管理棟のみに設置する。

委員：トイレは、必要な施設ではないか。

生涯スポーツ課長：トイレの必要基数については、今後基本設計の中で算定していく。

委員：許可を取らずに、気軽に遊べる広場があったほうが良いのではと思う。

生涯スポーツ課長：多目的スポーツ広場の名前にもあるとおり、その辺も視野に入れて検討している。具体的には、これから実施計画を策定する際に、アンケート等を参考に決めていく。

委員：多目的グラウンドも使用の許可を受けて使うことになるのか。

生涯スポーツ課長：利用目的を書いて申し込んでもらうこととなる。

委員：多目的スポーツ広場とあるが、野球場とかサッカー場しかないのか。何も造らないで、ただ芝生広場にして多目的スポーツ広場にしてはだめなのか。

生涯スポーツ課長：この図面は、あくまでもイメージであるため、実際の計画には何に

でも使える芝生広場が入ってくると思う。

委員：何に使うか、使う人が決めるような広場は、成田にはあまり無いように思える。その様な広場にしてはどうか。

生涯スポーツ課長：その意味からも市民アンケート調査を尊重していきたい。

委員：アンケートも広い立場から、人数だけではなく、各年齢層、男性、女性等いろいろな層から集める必要があると思う。また、アンケートも野球場とかサッカー場とか項目を作って○を付けるのではなく、市民が考える広場とはどういうものかということを広い立場で考えてもらうことの方が良いのではと思う。使う市民が何に使うか決めるべきだと思う。

生涯スポーツ課長：そういう観点からも、あなたはどのような施設を希望しますかという設問に具体的な施設名は記入しない。空欄に希望の施設を入れてもらうような方式を考えている。

委員：もう少し広い意味でスポーツということを考えてもらうようなアンケートにしてもらいたい。また、専門家の将来の夢を語れる人の意見も大事ではないかと思う。

成田の特色を出すような施設を目指して欲しい。

生涯スポーツ課長：意見を参考に整備を進めます。

## 5 その他

生涯学習課長：成田市所有の国指定重要文化財「人頭型土製品」がイギリスの大英博物館で9月10日から11月22日まで展示されていたが、その帰国展が東京国立博物館で12月15日から2月21日まで開催され、展示されている。

生涯スポーツ課長：成田高等学校女子駅伝チームが京都で行なわれる全国高校女子駅伝に出場し、12月20日10時よりNHKで生中継される。メンバー8人の内3人が西中学校出身。

成田高等学校女子駅伝チームは、記録的には、47チーム中10番目である。

教育指導課長：成田市立西中学校女子駅伝チームが12月19日山口県で開催される全国大会に出場し、その様子がBS朝日で12月27日9時からと来年1月3日7時から放送される。

## 6. 委員長閉会宣言